

中華人民共和国江蘇省蘇州市吳中区との交流の経緯

2020/6/1

1. 江蘇省蘇州市吳中区と八女市のつながり

八女市の代表的な特産品である「八女茶」は、約600年前、中国では明の時代に吳中区にある靈巖山寺に留学していた栄林周瑞禪師(えいりんしゅうざいぜんじ)がお茶の種子を持ち帰り、栽培、製造方法等を八女の地に伝えたのが始まりとされている。吳中区と交流都市等の協定締結は行っていないが、「お茶」のつながりを活かした交流を進めている。

※参考：吳中区（常住人口約114万人、江蘇省蘇州市に位置する市轄区）

「福岡県」と「江蘇省」は、1992年に友好提携を締結。

環境、経済、青少年、文化・学術など幅広い分野で交流を重ねている。

時期	内容
2016（平成28年） 3月28日～31日	「福岡・江蘇友好桜花園20周年記念訪問団」に参加 ※八女市靈巖寺訪問団：八女市副市長、他職員3名。
2017（平成29年） 3月26日	「靈巖寺がつなぐアジアお茶まつり」開催 場所：輝翔館中等教育学校、靈巖寺 主催：靈巖寺がつなぐアジアお茶まつり実行委員会 福岡県、福岡県茶生産組合連合会、 福岡県国際交流推進議員連盟ほか 主管：岡垣国際交流協会 協力：八女市ほか ※来賓：中国在福岡領事館総領事（蘇州市出身）
2017（平成29年） 7月19日	「吳中区代表团」八女市訪問（6人） ※来訪者：吳中区人民政府副区長、他吳中区職員5名 ※同行：総領事館2人、福岡県国際局2人
2017（平成29年） 12月23日・24日	「福岡県・江蘇省友好提携25周年記念訪問団」に参加 ※文化交流団：企画振興部長ほか職員1名 （福岡県茶生産組合連合会事務局長同行） ※内容：吳中区副区長表敬訪問／蘇州市主催夕食会／ 福岡県・江蘇省友好茶会

2. マスク受領の経緯

時期	内容
2020（令和2年） 2月	【2月2日】 呉中区より、コロナウイルス感染拡大のため防護服等の購入先紹介の依頼あり。しかし、日本国内でも不足しており、対応可能な業者を紹介することはできなかった。 【2月25日】 八女市より義援金50万円を中国駐福岡総領事館の義援金口座へ送金。28日領事館の手配で蘇州市赤十字へ送金。 蘇州市赤十字を経由して3月に呉中区へ送金。
3月	【3月6日】 三田村市長の応援ビデオメッセージを呉中区へ送信。 呉中区より、中国でマスク等の生産が回復したとの事で寄贈の申し出あり。 →（市長）今後、必要な状況になればお願いしたい。 【3月9日】中国駐福岡総領事館より義援金礼状受領 【3月10日】呉中区より義援金礼状受領（メール）
4月	【4月13日】蘇州市赤十字より義援金感謝状受領 【4月20日】呉中区へマスク等相談 【4月24日】呉中区にてマスク検討（市長へ報告）
5月	【5月11日】呉中区よりマスク寄贈書受領 【5月26日】呉中区よりマスクが届けられる（受領） 使い捨てマスク6万枚（30箱×2,000枚／箱） <u>※三田村統之八女市長のコメント</u> <u>たくさんのマスクを送っていただき大変感謝しています。</u> <u>八女茶発祥の縁でつながる呉中区と八女市は、今回、困難を乗り越えるために助け合いました。これからも交流の輪が広がることを願っています。マスクは、感染拡大防止のため、同市内の介護、障害者施設等での有効活用を検討しています。</u>

【問い合わせ先】

八女市役所 観光振興課 都市交流係（担当：川口・元村）

八女市本町2-129（八女観光物産館内）

電話：0943-22-8033

FAX：0943-22-7311

Mail：toshikoryu@city.yame.lg.jp